

腎臓内科研修プログラム

I. 研修について

当科の診療領域は、血尿、蛋白尿、ネフローゼ症候群、急速進行性糸球体腎炎(RPGN)、急性腎障害、慢性腎不全および腎症を合併した全身疾患、電解質異常など腎疾患全般に及ぶ。

従って、腎臓だけでなく、全身をきちんと診察することも重要であり、他の科と連携をとりながら、細部にわたる丁寧な診療を行っている。腎臓疾患にとって、最も重要なポイントは「早期発見を心掛け透析に至る前に対処する」ということである。そのためには、血尿または蛋白尿が発見されたとき、無症状であることに安心して来院を遅らせることのないよう患者に啓発することを第一とし、例え腎機能の低下が認められた場合でも、疾患をそれ以上進行させないために、あらゆる努力を怠らないよう心掛けている。

II. 研修の到達目標

透析開始時や終了時の処置、透析管理、シャント手術、シャントに対してのバルーンによる血管内治療等が、指導医の指導のもとできるようなること。また、点滴メニューや食事療法の考え方について理解すること。

III. 診療科情報(医師数・学会認定医・専門医・指導医)

当院HP診療科ページをご参照ください

IV. 施設認定

当院HP病院概要ページをご参照ください

V. 臨床研修指導医講習修了者数

2名

VI. 1週間の研修例

	月	火	水	木	金
午前	病棟業務 シャント手術	外来 シャントPTA	病棟業務 シャント手術	病棟業務 シャントPTA	シャントPTA
午後	病棟業務	腎生検	病棟業務	病棟業務 腎生検	病棟業務
その他		病棟カンファレンス	勉強会	病理カンファレンス 透析カンファレンス	

VII. 評価方法

「研修評価方法」参照